

オペラ 卒塔婆小町

MISHIMA YUKIO
三島由紀夫原作 代巻楽集より マルグリット・ユルスナール仏訳 日本語字幕付
作曲 フランソワ・ファイト François Fayt
企画 演出 主演 小林真理

2023年 7月15日(土) / 7月16日(日)
16時30分開場 17時開演
14時30分開場 15時開演
京都文化博物館 別館ホール

チケット

一般券：3,500円、学生券：2,000円

宵山ペア券：6,000円(お2人で申込み)

電子チケット窓口

<https://marie.groupe-cherie.com/news/>

チケット窓口 & お問い合わせ

yukominchin@gmail.com

03-3705-4413(安江)

アーカイブ配信券 3,000円(+手数料)

<https://seasideclassics.zaiko.io/e/sotobakomachi>

※配信期間は2023年8月1日(火)~31日(木)です。

※期間中、何度でもご視聴いただけます。

※購入にはZaikoの会員登録が必要となります。

オンラインチケット



アーカイブ配信券



主催 小林真理リサイタル実行委員会

共催 京都府/在京都フランス領事館/京都文化博物館

助成 公益財団法人朝日新聞文化財団/一般社団法人ピロティン・ミュージック・タイズ
全国税理士共栄会文化財団

後援 京都市/在日フランス大使館 アンスティチュ・フランス
文化庁連携プラットフォーム

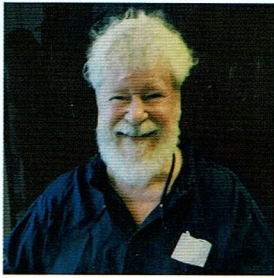
AMBASSADE
DE FRANCE
AU JAPON
Liberté
Égalité
Fraternité

INSTITUT
FRANÇAIS
アンスティチュ・フランス

フランソワ・ファイト作曲 オペラ「卒塔婆小町」について

東京のアベックのよく来るとある公園、1人の汚らしい老婆がたばこの吸い殻を拾っている。そこへ少し酔った詩人まがいの若者がやってくる、アベックのためのベンチを老婆が每晚1人占めにするのを非難し、2人は会話を始める。老婆は現在98歳、昔は小町と呼ばれて鹿鳴館の舞踏会で深草少将も夢中になった美女だったこと、彼女を美しいと讚えた男達はみんな死んでいったことを語る。最初はその話を嘲笑っていた詩人は、段々に老婆の話に引き込まれてゆき...

世界中に翻訳されている三島由紀夫の作品の中から近代能楽集の「卒塔婆小町」のマルグリット・ユルスナールの仏訳にフランソワ・ファイトが小林真理のために2020年に書いたオペラの世界初演が鹿鳴館の明治時代を彷彿させる京都文化博物館の別館ホールに登場。(日本語字幕付き上演、50分) ヴィデオ制作・配信: Seaside Classics、照明: RYU 大沢安彦



作曲 フランソワ・ファイト François Fayt

1946年、カルヴァドス生まれのフランス人の作曲家。ヴェルサイユのコンセルパトワールとエコールノルマルでピアノをチッコリーニから学び、ミシガン大学のエウジェン・クルツ教授より作曲を学ぶ。1984年にマルセイユの国立劇場の演劇作品の音楽を作曲し始め、シャンゼリゼにロンポアン劇場で初演されたオペラ「5月の木」、ピアニストのジャン・マルク・ルイサダとオーストラリアの四重奏団からの委嘱作品、ドイツのエルフルト国立劇場で初演されたオペラ「黒い血」その他数々の作品を作曲しているフランスの現代作曲家の1人である。



Photo: Marta Kohler

卒塔婆小町 小林 真理 メゾ・ソプラノ

鎌倉市生まれ 10歳より声楽を中村浩子女士に師事。東京芸術大学音楽部声楽科、大学院を卒業後、フランス政府給費留学生としてパリの国立高等音楽院に入学。レジーヌ・クレスパン、ウィリアム・クリステイに師事。在学中よりフランス国営放送などの現代音楽の初演をつとめ、卒業後パリの歌曲コンクール、クレルモン・フェロンのオラトリオ・リートコンクールらで受賞しバロック、オペラ、現代曲、映画音楽、CD録音と幅広いジャンルの活動を始める。その後進学した東京芸術大学博士課程においてメシアン歌曲集ハラウイの演奏と論文で博士号を取得する。P・ブーレーズ、佐渡裕、J・テート、M・ロストロポーヴィッチ、J・C・スピノジラの指揮者のもとで歌い、ヨーロッパのみならず、アメリカ、オーストラリア、ポーランドなどのフェスティバルでソリストを勤めている。2004年よりストラスブル地方国立音楽院の声楽の専任教授になり、ポルドー近郊ウルタンのアカデミーやワイマール音大でマスタークラスを行い後進の指導にも情熱を注いでいる。日本での演奏活動も増えてきて新日フィルとの第九のソロ、大原美術館のギャラリーコンサート、津山国際音楽祭でのマーラーのリサイタルなど歌っている。湘南日仏協会会員。日仏現代音楽協会名誉会員。

公式ブログ <https://marie.groupe-chene.com>



詩人、男1 リオネル・サドゥン Lionel Sadoun バリトン

法律や経済を大学で学んだあと、デジタル系の会社を設立して傍ら歌の勉強を続けている。2019年ストラスブル地方音楽院のディプロムコース、小林真理のクラスに入学し、2022年5月卒業資格を得る。2021年にはエチエンヌ・フェレの指揮によるJ・シュトラウスのオペレッタ「こもり」のファルゲ博士役で、アルザスの劇場で数回公演する。2022年秋には同じ指揮者でF・レハールのオペレッタ「メリー・ウィドウ」のミルコ・ツェータ男爵役を歌う。



Photo: Shigeto Imura

ピアノ 松田 琴子

東京に生まれる。2009年に旧都立芸術高校、2013年に桐朋学園大学音楽部、2022年にストラスブル地方音楽院スペシャリゼーション科卒業。現在ストラスブル音楽大学ピアノ修士課程に在籍、2022年、ドイツのレーベル、コヴィエロ・クラシック社によるフランス現代音楽界の重要な作曲家の1人、ユグ・デュフルのピアノ作品全集CD中2曲を録音。2023年に発売予定。伴奏者の経験も多く、サントリーホールオペラアカデミー・プリマヴェーラ・コースで研鑽を積む。2018年イタリア・ローマにて声楽家ジュゼッペ・サッパティエーニ氏のマスタークラス伴奏者を務める。現在はストラスブル地方音楽院、大学にて伴奏ピアニストとして後進の指導にも力を注いでいる。



ヴィブラフォン 菅野 勢津子

2007年京都市立芸術大学音楽部を首席で卒業。ロームミュージックファンデーションの奨学生としてアメリカボストン音楽院に留学し2010年に同大学院を卒業。2009年イタリア国際打楽器コンクールマリニ部門第一位受賞をはじめ数々の賞を受賞。現在、京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師、札幌大谷大学芸術学部音楽学科学非常勤講師、ドルチェ音楽教室講師。国内最大マリニバメーカー「こおろぎ社」アーティスト

女1 柚木 たまみ ソプラノ

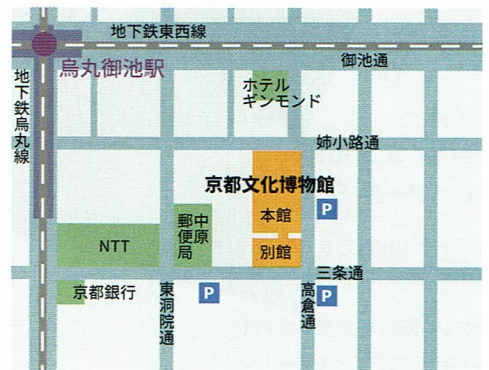
京都市立堀川高校音楽科、国立音楽大学卒業。滋賀短期大学国外研究員として渡仏、ストラスブル音楽院にて研鑽を積む。現在、滋賀短期大学教授。

女2 谷口 美也 ソプラノ

1997年同志社女子大学学芸学部音楽学科声楽専攻及び1998年同大学特別専修生修了。その後渡仏し2000年から2007年までボーヴェ音楽院声楽科で小林真理に師事。2002年から2008年までメッス音楽院のバロック声楽科に在籍しモニック・ザネッティ史のもとで研鑽を積む。

男2 寛明 絵 メゾ・ソプラノ

1996年愛知県立芸術大学院修了、在学中よりフランス歌曲に興味を持ち、1998年に渡仏。エコールノルマル音楽院、ボーヴェ音楽院、ストラスブル音楽院にて研鑽を積む。2012年より在仏日本人会女声合唱団みもぎの指揮者を務める



京都文化博物館 別館ホール

〒604-8183 京都市中京区三条高倉

TEL: 075-222-0888 FAX: 075-222-0889

<https://www.bunpaku.or.jp/>